

Alma Mater SAPIENTIA

英知大学同窓会会報

Vol. 9 Mar. 10, 1998

発行：英知大学同窓会
〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：野村裕
編集：英知大学同窓会

- 新生会員をお迎えして……………1
- 事務局だより……………2
- 土曜講座のご案内……………3
- 1997ホームカミングディ……………4
- 卒業生からの手紙……………5
- 関東支部だより……………6
- 誕生!!和歌山グループ……………6
- 会費システムについて……………7
- クラブ紹介……………7
- お知らせ……………8

新正会員をお迎えして

会長 野村裕

卒業生の皆さん、ご卒業を心よりお喜び申し上げます。また、同窓会への正会員としての入会を、心強く思い、心から歓迎の意を表わしたいと思えます。

われわれの在学中に比べ、現在の大学の施設、カリキュラムなどは、数段の違いがあり、毎年驚いています。大学も今年で開学35周年を迎えることになりました。キャンパスの美化整備工事も着々と進行し、メインタワーも今年の秋には完成予定と聞いております。

この記念すべき年にご卒業された皆さんは、幸せだと思えます。反面、これから実社会に飛び立つ皆さんにとって、近年の傾向として経済、社会全般にわたって非常に厳しい状況であることは否定できません。

皆さんも去年からの就職活動で実感されたように、今、日本全体が「不確実性の時代」にあると言えます。大手銀行、証券会社、ゼネコンなどの相次ぐ倒産・破綻はご存じの通りですが、このような大型倒産の恐れは今後もあるものと思います。と同時に、底流では終身雇用の風化も始まり、どのような雇用環境になるのか図りしれません。個人はどう生きていくのか。日本の今後の方針はどうなるのか。われわれ実社会に生きている人間にとっても、1

年先は言うに及ばず、1カ月いや1週間先が読めない、不透明な時代になってきたのです。

今後ますます、企業に支えられるのではなく、各個人がどう生き、どう考え、どのように企業を支えていけるかが、真に問われてくると思えます。大蔵省のキャリア組が批判されるように、学歴社会から真の実力社会への転換が、急速に推し進められるのではないのでしょうか。たびたび申し上げていることですが、今後いっそう「主体的自主的責任」というものが、各個人に強く求められることになると考えます。その中で「英知大学」を卒業したわれわれも、落ちこぼれないようがんばっていかねければなりません。われわれ同窓生が、各自強く生き、助け合うというマインドを持つことが求められてきます。

大学当局も、生き残りをかけ、努力を惜しまず挑戦されています。われわれ同窓会も、大学を側面的に支え、発展への一助とならなければなりません。そのためにも、大学・同窓会に対して、今後いっそうのご理解とご協力を賜ることを望みます。

われわれ一人ひとりの力が大きな流れとなるよう、努力しようではありませんか。

英知大学 SAPIENTIA UNIVERSITY

これまで英知大学の英語での正式名称は EICHI UNIVERSITY でした。私達同窓生が最もなじみの深い SAPIENTIA は単なる愛称に過ぎませんでした。今年度より、国外に対する名称として、SAPIENTIA UNIVERSITY と統一することが決定しました。

SAPIENTIA を積極的に全面に押し出すことによって、海外においても、我々が母校の建学の精神や校風を、よりいっそう知らしめることにつながることでしよう。

英知大学では蘇州鉄道師範学院（中国鉄道省立大学）との姉妹校提携など活発に海外との交流を進めています。この英語名称統一を機に、国内的には言うに及ばず、国際的にも高い評価を受ける大学として発展していくことを期待してやみません。



会員4,900名中、出席者278名(出席者31名・委任状247通)。会員の10分の1に満たないため、仮決議。30日以内に異議がなかったため本議決となりました。

1998年度事業計画案

1998年度においては、以下の点に凝縮し、事業を推進したいと考えています。

何よりも同窓会の活動は、英知大学及び英知大学大学院の発展に寄与するものでなければなりません。

今後一層の同窓生間の連絡を密にし、多くの同窓生と交流できるように図り、英知の発展と在学生の支援を惜しみなく進めていきたいと考えます。

そのような観点から、1998年度の事業計画は以下のとおりといたします。

- (1) 同窓会費に関する管理システムの充実
- (2) 同窓会組織の充実
- (3) 同窓会「会報」の充実

1998年英知大学同窓会予算案(1997年10月1日～1998年9月30日)

【収入の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	8,021,454	
同 窓 会 会 費	7,400,000	98年度新入生 20,000×370名
在 校 生 入 会 金	17,540,000	1回生358名, 2回生317名, 3回生325名, 4回生396名
年 会 費	600,000	年会費3,000円×200名
終 身 会 費	1,500,000	終身会費30,000円×50名
受 取 利 息	250,000	
合 計	35,311,454	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	予 算	摘 要
旅 費 交 通 費	100,000	関東支部交流他
通 信 費	500,000	
監 査 費	120,000	会計監査
事 務 用 品 費	100,000	消耗品
支 払 手 数 料	50,000	
会 議 費	400,000	役員会議費(年間20回)
事 務 局 維 持 費	1,500,000	アルバイト代他
印 刷 費	3,500,000	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
OBクラブ開催費	1,000,000	HomeComingDay及び総会
助 成 金	4,000,000	実行委員会・クラブ・クラブOB会・クラス会等
会費に関するシステム作成費	4,000,000	
献花費及び記念品費	100,000	入学・卒業
配付金(関東支部)	350,000	関東支部運営費
雑 費	250,000	写真代他
予 備 費	19,341,454	次年度繰越金等
合 計	35,311,454	

新役員改選

会 長：野村

副 会 長：藤本、和田

書 記：大月、足達

会 計：前中、安部

会計監査：田中、大牟田

常任委員：稲田、藤原、楠川、地村、崎山、小林、泉、村瀬、松下、玉那覇、玉島、山本、波越、張、早瀬

1998年度年間行事予定

同窓会年間行事予定		大学年間行事予定	
1月22日	月例会		
2月12日	臨時月例会	2月19日	学内企業説明会
2月26日	月例会		(就職部主催・同窓会後援)
3月18日	卒業式準備 (於大学講堂)		
3月19日	卒業式 (於大学講堂)		
3月26日	月例会		
4月 1日	入学式	4月 1日	入学式
4月12日	六甲山トレッキング		
4月23日	月例会		
5月21日	月例会	5月29日	体育祭
6月20日	合宿月例会	6月11日	入試説明会
21日			
7月16日	第2回交流ビアパーティ (英知教職員と同窓生との交流)	7月25日	オープンキャンパス
7月23日	月例会		
8月 8日	第3回交流スポーツ大会 (在学生や社会人と同窓生との交流)		
8月20日	月例会		
9月17日	月例会		
10月15日	月例会		
10月29日	月例会		
11月 2日	ホームカミングディ準備		
11月 3日	総会・ホームカミングディ		
11月14日		11月14日	英南戦
15日		15日	
12月17日			

※以上が、おもな年間行事ですが、都合により日程が変更になる場合がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

1997年度 英知大学同窓会 決算報告書

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	9,104,977	
同窓会入会金収入	4,700,000	同窓会入会金収入
同窓会会費収入	403,000	《別紙参照》
名簿売上高	52,000	同窓会名簿売上高
受取利息	12,402	《別紙参照》
雑収入	191,820	《別紙参照》
合計	14,464,199	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	実績	摘要
配付金(関東支部)	350,000	350,000	関東支部運営費
旅費交通費	100,000	360	関東支部交流他
献花費及び記念品費	60,000	20,000	入学・卒業
OBクラブ開催費	1,000,000	904,320	HomeComingDay及び総会
印刷費	3,000,000	1,773,663	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
大学祭実行委員会助成費		50,000	
クラブ・クラブOB助成費		135,000	
クラス会助成費	3,000,000	500,000	留学生助成金他
同窓会開催費		313,289	
事務用品費	100,000	64,432	消耗品
支払手数料	50,000	17,378	
郵送費	500,000	1,345,131	名簿郵送費他
事務局維持費	500,000	336,630	アルバイト代他
会議費	200,000	356,080	役員会議費(年間20回)
監査費	120,000	100,000	会計監査
雑費	250,000	176,462	写真代他
予備費	12,574,977		年次度繰越金等
合計	21,804,977	6,442,745	

(単位：円)

前年度繰越額	9,104,977
本年度収入額	5,359,222
本年度支出額	6,442,745
次年度繰越額	8,021,454

財産目録 (1997年9月30日現在)

【資産の部】

現金及び預金

(単位：円)

本部現金	756,841
事務局現金	29,784
合計	786,625

普通預金

(単位：円)

さくら銀行/園田支店 No.3928064	549,294
さくら銀行/園田支店 No.4053087	5,005,395
さくら銀行/難波支店 No.6386541	401,449
尼崎信用金庫/小園支店 No.1002897	65,291
合計	6,021,429

貸付金

(単位：円)

	350,000
	322,170
	641,230
合計	1,313,400

資産の部合計

9,404,977

【負債の部】

未払金

(単位：円)

監査費(森会計)	100,000
----------	---------

負債の部合計

100,000

【次期繰越金額】

(単位：円)

	8,021,454
--	-----------

入会金、年会費の徴収について

●正会員=英知大学・英知短期大学及び同大学院の入会金納付済みの全卒業生

●準会員=英知大学・同大学院在校生

■入会金

現行(平成10年3月現在)入会金は、20,000円

入学時にお納め願います。

■会費

年会費=3,000円 終身会費=30,000円

(同封の振込用紙でお願いします。)

●(95年以前入学) 入会金1万円 卒業時入会金未納者は、卒業後、入会金として2万円を請求。

●新4回生(95年入学) 入会金1万円 卒業時入会金未納者は、卒業後、入会金として2万円を請求。

●新3回生(96年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入会金として2万円を請求。

●新2回生(97年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入会金として2万円を請求。

●新1回生(98年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入会金として2万円を請求。

●大学院生 英知大学を卒業したもので、入会金未納者については入会金として2万円を請求。

●他校からの入学は入学時に入会金を納入しなければならない。

※なお、英知大学大学院在校中は英知大学卒業生であっても準会員としてみなされ、年会費3,000円は免除されることとする。大学院を終了した場合、その年より年会費の義務が発生する。(正会員としてみなされる)

また、あやまって過度の入金があった場合は次年度以降の年会費に当てられるものとし、特別の申し出がある場合を除いて、基本的には返金はしないものとする。